

議 事 録

会 議 名	令和7年度第3回三芳町地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和7年9月22日（月） 10時00分開会 11時00分閉会
開 催 場 所	三芳町役場3階302会議室
主宰者氏名	三芳町地域公共交通協議会
出席者	林会長、板谷副会長、忽滑谷委員、関根委員、内田委員、廣瀬委員、川村委員、古川委員、廣田委員、小谷野委員、山田委員、曾我委員、高橋委員、西山委員 三芳町循環ワゴン実証運行事業支援業務委託事業者 担当1名
欠席者	西内委員、照井委員、藤田委員、若林委員、井上委員
傍聴人	なし
事務局職員	政策推進室 室長 石川英治 副室長 南雲玲 政策推進担当 主査 萩原春香
総会次第 1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 第1号議案 循環ワゴン実証運行計画（案）について 4 報 告 （1）三芳町運賃協議分科会協議結果について （2）三芳町循環ワゴン愛称・ロゴマーク募集結果について （3）三芳町循環ワゴン「MIY0 バス」の実証運行開始について （4）生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）について 5 閉 会	
結果 ・第1号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。	
配布資料 資料1 三芳町循環ワゴン運行計画書（案） 資料2 運賃協議分科会協議結果 資料3 愛称等募集結果 資料4 循環ワゴンリーフレット	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果

	1 開会
	2 会長あいさつ
	3 議事
	第1号議案 循環ワゴン実証運行計画（案）について
	第1号議案について、事務局より説明を行った。
委員	14 ページの収支率について、公費を使って収益率をあげるために運賃を設定することは理解できるが、民間で運営できないため行政で運営するという面もある。収支率 20%を達成しない場合はより適切な運行内容への変更ということで、運行本数を減らしてでも収支率を上げるという方向性ではないということの良いか。
事務局	収支率が 20%を下回った際は、路線がより使われるようにするための改善策について考えて行かなければならない。時代が進み、新技術が広まってきた際は定時定路線以外の方法も視野に入れ、検討していく。交通のサービスは継続していかなければならないと考えており、それに向けた改善をしていく。
議長	利用者アンケートについて 11 月実施予定としているが、時期について運行開始してすぐが良いのか、少し定着してからとった方が良いのか。
事務局	来年 10 月から本格運行となるが国の許可が必要となり、年度当初から動き始める必要がある。そのため今年度中にデータ収集し、一定の評価をする必要がある。
議長	令和 8 年 4 月以降は改めてアンケートはとるのか。
事務局	来年度も実証実験期間中のデータ収集として実施していきたいと考える。
委員	今回循環ワゴンが運行するという事で町が変わる重要なことである。役場内での横のつながりが大切で情報をしっかり共有頂きたい。会議に委員として出席しその情報を各課で共有して頂きたい。 事業費 5,500 万円と記載されているが、内訳を教えてほしい。利用者数によって額が変わってくると思うが、運行事業者への支払い方法を教えてほしい。先に定額を支払うのか、もしくは赤字額が決まった後で年度の途中や年度末に支払うのか。
事務局	欠席した委員をはじめ共有していく。また、運行事業費 5,500 万円についての内訳であるが、主に運行委託業務として 4,500 万円程度、車両のリース等が約 900 万円で算出している。その他バスロケーションシステム等で 約 40 万円、キャッシュレス決済システム等で 約 6 万円という内訳で合計 5,500 万円程度として計上している。収入としては、運賃 250 円、乗客 6 名乗車、路線数 3 路線、1 日 9

	便の運行といったところを踏まえて算出を行っている。 運行事業者への支払い時期については今後協議の上決めていくが、基本的に定額で委託料を支払う。
委員	今年の 6 月から社会福祉協議会の会長を担っているが、以前は区長会にも携わっていた。過年度より区長会で町内巡回バスを実施してほしいという要望をしていた。結果、10 月 1 日から実施されることは驚異的な速さである。感謝する。以前の資料より見やすくなったが、最後のページの地図は見にくい。商業施設や病院名等目印となる施設も掲載してほしい。これはすでに完成していて配布されるのか。
事務局	正式なマップを作成しているところだが、確定したバス停やコースの情報を掲載するとなると 10 月 1 日には間に合わないため、今回リーフレットを配布することになっている。公共施設や大規模商業施設、病院なども掲載し、12 月の広報で全戸配布する予定である。
委員	10 月 1 日にやるのであれば今情報が完全に地域に出てないと困る。まだあまり認識されてないようだ。目標を達成するのが大変ではないか。リーフレットは 10 月広報で配布されるのか。
事務局	10 月の広報で配布する。
委員	10 月から運行開始なのに 10 月広報で配布は遅いと思う。
議長	循環ワゴン実証運行計画（案）について、承認頂けるか。 〔異議なし〕 計画の「案」を消して頂きたい。
	4. 報告 （１）三芳町運賃協議分科会協議結果について 〔事務局より資料説明〕
	（２）三芳町循環ワゴン愛称・ロゴマーク募集結果について 〔事務局より資料説明〕
委員	町内応募者の有無、入賞者について表彰や氏名等は公表するのか教えて頂きたい。
事務局	愛称の候補としては「みよしワゴン」や「ぐるっと三芳」、「くるっと三芳」「さとらいど」「のぞみら号」といったものがあつた。ロゴマークはトランスパス、さつまいもをモチーフにしたロゴマークなどがあつた。みよしの「み」とバスをかけたロゴマーク、三芳町を循環していることをイメージしたものもあつた。応

	募者の詳細について、町内在住者が多かったが、京都在住者など遠方からも応募があった。小中学校に募集チラシを配布したこともあり、子ども達から手書きのロゴマークの応募など幅広く応募があった。10月1日に予定している出発式に受賞者を招待しておりその場で表彰し感謝状と副賞をお渡しする予定である。
	(3) 三芳町循環ワゴン「MIY0 バス」の実証運行開始について 〔事務局より資料説明〕
委員	路線が一方通行であり、帰りに時間がかかってしまう場所もある。終点の役場より先に行く場合、そのまま乗車することはできるのか。
事務局	乗務員の休憩のために一度降りて頂くが、その際、継続乗車券を渡すので次の発車時刻に戻ってきて頂ければ、1回の料金で継続して乗車できるようにする。
委員	足の悪い高齢者もいると思うが必ず降りなければならないのか。
事務局	調整しながら進めていく。
委員	継続乗車する際、役場で乗車する人が多ければ乗れなくなってしまう可能性もあるのではないか。その際は予備車を活用するとのことだが、円滑にいくように改善しておいてもらいたい。
事務局	実証実験期間中の要望等を検討し、改善につなげていければと思う。
	(4) 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）について 〔事務局より説明〕
	5 閉会